



平成28年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年9月30日
東

上場会社名 株式会社アダストリア
コード番号 2685

上場取引所
URL <http://www.adastria.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼
最高経営責任者 (CEO) (氏名) 福田 三千男

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員管理本部長 (氏名) 林 正武 (TEL) 03-6895-6000

四半期報告書提出予定日 平成27年10月15日 配当支払開始予定日 平成27年10月23日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年2月期第2四半期の連結業績 (平成27年3月1日～平成27年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第2四半期	97,032	10.2	8,132	299.0	8,324	282.8	4,156	—
27年2月期第2四半期	88,051	38.1	2,038	△45.9	2,174	△45.4	109	△94.8

(注) 包括利益 28年2月期第2四半期 7,310百万円 (906.3%) 27年2月期第2四半期 726百万円 (△75.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年2月期第2四半期	171.19	—
27年2月期第2四半期	4.51	4.51

(参考) EBITDA 28年2月期第2四半期 12,272百万円 (88.3%) 27年2月期第2四半期 6,517百万円
のれん償却前EPS 28年2月期第2四半期 217.36円 (300.7%) 27年2月期第2四半期 54.25円

※両指標の定義、計算方法等の詳細は、添付資料2ページ「経営成績に関する説明」をご覧ください。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年2月期第2四半期	87,397	52,442	60.0
27年2月期	83,742	46,233	55.2

(参考) 自己資本 28年2月期第2四半期 52,442百万円 27年2月期 46,233百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	30.00	—	45.00	75.00
28年2月期	—	40.00	—	—	—
28年2月期(予想)	—	—	—	70.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成28年2月期の連結業績予想 (平成27年3月1日～平成28年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	198,000	7.3	14,000	134.0	14,300	121.6	6,800	—	280.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(参考) EBITDA 28年2月期 通期(予想) 22,700百万円 (44.3%)
のれん償却前EPS 28年2月期 通期(予想) 370.67円 (161.6%)

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(注) 特定子会社の異動に該当しない子会社の異動につきましては、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）」に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年2月期2Q	24,400,000株	27年2月期	24,400,000株
② 期末自己株式数	28年2月期2Q	119,738株	27年2月期	117,988株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年2月期2Q	24,281,417株	27年2月期2Q	24,282,022株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

「参考」個別業績予想

平成28年2月期の個別業績予想（平成27年3月1日～平成28年2月29日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	185,400	—	13,400	—	13,800	—	9,300	—	383.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当社は、平成27年3月1日付で、連結子会社の吸収合併を実施し、持株会社ではなくなりました。
そのため、対前期増減率については記載を省略しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(重要な後発事象)	9
4. 補足情報	10
(1) 店舗出退店等の状況	10
(2) ブランド・地域別売上高の状況	11
(3) 商品部門別売上高の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成27年3月1日から平成27年8月31日まで）におけるわが国経済は、中国経済をはじめとした海外景気の下振れなど、景気を下押しするリスクはあるものの、政府の経済対策や金融政策の効果などから、企業収益や雇用・所得環境に改善傾向がみられ、景気は緩やかな回復基調が続きました。

当社グループの主要ブランドが属するカジュアルウェア市場におきましては、個人消費の底堅い動きを背景に、天候に恵まれたこともあり、全般的に堅調に推移いたしました。

このような環境のもと、売上高につきましては、天候の好影響に加え、主力ブランドの品質改善・販売力の向上やWEB事業の伸長などの要因により、前年同期比10.2%増と順調に推移いたしました。ブランド別では、「グローバルワーク」及び「ジーナシス」が高い伸びを示しました。

店舗展開につきましては、54店舗の出店（内、海外16店舗）、53店舗の退店等（内、海外15店舗）の結果、当第2四半期連結累計期間末における当社グループの店舗数は、1,357店舗（内、海外107店舗）となりました。

収益面につきましては、円安による原価上昇の影響はあるものの、好調な販売状況により値下げロスが減少した結果、売上総利益率は57.3%（前年同期比1.0ポイント増）となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、ブランド認知度上昇に伴いテレビコマーシャルを縮小するなど、諸経費を適切にコントロールした結果、販管費率は48.9%（前年同期比5.0ポイント減）となり、営業利益率は8.4%（前年同期比6.1ポイント増）と大きく上昇いたしました。

特別損益につきましては、店舗の減損損失1億68百万円及び関係会社株式売却損1億73百万円を特別損失に計上いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は970億32百万円（前年同期比10.2%増）、営業利益は81億32百万円（前年同期比299.0%増）、経常利益は83億24百万円（前年同期比282.8%増）、四半期純利益は41億56百万円（前年同期は1億9百万円の四半期純利益）となりました。

また、当第2四半期連結累計期間におけるEBITDAは122億72百万円（前年同期比88.3%増）、のれん償却前EPSは217.36円（前年同期比300.7%増）となりました。（※）

なお、平成27年9月1日付で当社の連結子会社である株式会社N9&PGが営む衣料品等企画製造に関する一切の事業を、当社へ承継させる吸収分割（以下「本吸収分割」といいます。）を実施いたしました。

当社グループは、株式会社N9&PGに海外を含めた生産から物流までの機能を一元化することで、商品供給体制整備のスピードアップを目指してまいりました。しかしながら、当該体制にてグループ運営を進める中で、商品企画・生産管理機能については、物流機能よりも小売機能とより密な連携をとることがバリューチェーンの最適化には適するため、小売事業会社である当社に商品企画・生産管理機能を集約する一方、物流機能については、海外物流機能の強化・展開も見据えて別法人で運営を進めることが適切と判断し、本吸収分割を実施することいたしました。

本吸収分割により、経営効率化と意思決定の迅速を図り、企業価値向上につながる体制に再編いたします。

(※) 株式会社トリニティアーツ（現 当社）の連結子会社化等によるのれん償却額の計上により、平成26年2月期より営業利益以下の利益が大幅に引き下げられることとなりました。のれん償却額は現預金の流出を伴わない費用であるため、キャッシュフローの増減と、営業利益以下の利益項目の増減に大きな乖離が発生しております。また、各国の会計基準によって計上方法が異なるため、海外企業との適切な比較も困難になっております。これらの点を考慮し、「EBITDA」及び「のれん償却前EPS」を参考指標として開示しております。

「EBITDA」

営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額（販管費）

「のれん償却前EPS」

（当期純利益 + のれん償却額（販管費、特別損失） + 減損損失（のれん））÷ 期中平均株式数

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて、36億54百万円増加して873億97百万円となりました。これは主に、のれんが13億35百万円及び投資その他の資産のその他（繰延税金資産など）が25億82百万円減少した一方で、現金及び預金が47億24百万円及び投資有価証券が46億60百万円それぞれ増加したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べて、25億53百万円減少して349億55百万円となりました。これは主に、短期借入金金が17億79百万円及び未払金が11億75百万円それぞれ減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べて、62億8百万円増加して、524億42百万円となりました。これは主に、利益剰余金が30億64百万円及びその他有価証券評価差額金が33億20百万円それぞれ増加したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」といいます。）は、前連結会計年度末に比べて、47億25百万円増加して123億92百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、98億44百万円（前年同期は16億24百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が79億81百万円、減価償却費が30億96百万円あった一方で、法人税等の支払が27億7百万円あったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、19億50百万円（前年同期は70億47百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が15億26百万円及び無形固定資産の取得による支出が3億52百万円あったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、32億92百万円（前年同期は40億7百万円の収入）となりました。これは主に、短期借入金の減少が21億81百万円及び配当金の支払が11億2百万円あったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間までの業績動向を踏まえ、平成27年4月6日に公表いたしました通期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（平成27年9月30日）公表の「平成28年2月期通期連結・個別業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、当連結会計年度におけるEBITDAは227億円（前年同期比44.3%増）、のれん償却前EPSは370.67円（前年同期比161.6%増）を見込んでおります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しませんが、平成27年3月1日付で、当社を存続会社、当社の連結子会社であった株式会社ポイント及び株式会社トリニティアーツを消滅会社とする吸収合併を実施したことにより、株式会社ポイント及び株式会社トリニティアーツは消滅し、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,677	12,401
受取手形及び売掛金	7,593	9,398
たな卸資産	14,488	13,855
その他	4,777	2,848
貸倒引当金	△48	△82
流動資産合計	34,488	38,421
固定資産		
有形固定資産		
店舗内装設備(純額)	8,420	7,610
その他(純額)	4,487	4,461
有形固定資産合計	12,908	12,072
無形固定資産		
のれん	7,921	6,585
その他	1,372	1,494
無形固定資産合計	9,293	8,080
投資その他の資産		
投資有価証券	7,604	12,265
敷金及び保証金	16,924	16,640
その他	2,754	171
貸倒引当金	△232	△254
投資その他の資産合計	27,051	28,823
固定資産合計	49,253	48,975
資産合計	83,742	87,397
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,246	8,358
電子記録債務	8,855	8,504
短期借入金	3,753	1,973
未払金	9,687	8,512
未払法人税等	3,293	3,427
賞与引当金	2,036	2,298
その他の引当金	358	303
その他	1,008	362
流動負債合計	35,240	33,741
固定負債		
引当金	95	94
その他	2,173	1,119
固定負債合計	2,268	1,214
負債合計	37,508	34,955

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,660	2,660
資本剰余金	6,987	6,987
利益剰余金	32,651	35,715
自己株式	△406	△415
株主資本合計	41,892	44,947
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,631	6,951
繰延ヘッジ損益	357	26
為替換算調整勘定	352	516
その他の包括利益累計額合計	4,341	7,494
純資産合計	46,233	52,442
負債純資産合計	83,742	87,397

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)
売上高	88,051	97,032
売上原価	38,515	41,480
売上総利益	49,536	55,552
販売費及び一般管理費	47,498	47,419
営業利益	2,038	8,132
営業外収益		
受取配当金	40	53
為替差益	47	—
デリバティブ評価益	—	42
その他	147	296
営業外収益合計	235	391
営業外費用		
支払利息	23	24
為替差損	—	108
デリバティブ評価損	69	—
賃貸収入原価	—	50
その他	6	16
営業外費用合計	99	200
経常利益	2,174	8,324
特別利益		
投資有価証券売却益	9	—
特別利益合計	9	—
特別損失		
減損損失	263	168
関係会社株式売却損	—	173
特別損失合計	263	342
税金等調整前四半期純利益	1,920	7,981
法人税、住民税及び事業税	2,344	3,246
法人税等調整額	△533	578
法人税等合計	1,810	3,824
少数株主損益調整前四半期純利益	109	4,156
四半期純利益	109	4,156

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	109	4,156
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	720	3,320
繰延ヘッジ損益	37	△330
為替換算調整勘定	△140	163
その他の包括利益合計	617	3,153
四半期包括利益	726	7,310
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	726	7,310
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,920	7,981
減価償却費	3,377	3,096
減損損失	263	168
のれん償却額	1,207	1,121
貸倒引当金の増減額(△は減少)	65	56
賞与引当金の増減額(△は減少)	588	261
関係会社株式売却損益(△は益)	—	173
売上債権の増減額(△は増加)	△2,315	△1,905
たな卸資産の増減額(△は増加)	△235	585
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,129	1,931
未払金の増減額(△は減少)	164	△469
未払消費税等の増減額(△は減少)	334	△915
その他	△670	438
小計	3,570	12,524
利息及び配当金の受取額	41	53
利息の支払額	△22	△26
法人税等の支払額	△1,965	△2,707
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,624	9,844
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,375	△1,526
投資有価証券の売却による収入	24	—
無形固定資産の取得による支出	△562	△352
敷金及び保証金の差入による支出	△2,443	△541
敷金及び保証金の回収による収入	307	441
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	29
その他	1	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,047	△1,950
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	4,617	△2,181
配当金の支払額	△608	△1,102
自己株式の取得による支出	△1	△9
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,007	△3,292
現金及び現金同等物に係る換算差額	△32	124
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,448	4,725
現金及び現金同等物の期首残高	8,529	7,667
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,080	12,392

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

共通支配下の取引等

当社は、平成27年9月1日を効力発生日として、当社の連結子会社である株式会社N9&PGが営む衣料品等企画製造に関する一切の事業を、当社へ承継させる吸収分割（以下、「本吸収分割」といいます。）をいたしました。

また、同日付で、株式会社N9&PGは株式会社アダストリア・ロジスティクスへ商号を変更いたしました。

(1) 取引の概要

① 対象となった事業の名称及びその事業の内容

事業の名称：当社の連結子会社である株式会社N9&PGの衣料品等企画製造事業

事業の内容：主として衣料品等企画製造及び物流業を行っております。

② 効力発生日

平成27年9月1日

③ 企業結合の法的形式

当社を吸収分割承継会社、株式会社N9&PGを吸収分割会社とする吸収分割

④ 結合後企業の名称

株式会社アダストリア（当社）

⑤ その他取引の概要に関する事項

当社グループは、株式会社N9&PGに海外を含めた生産から物流までの機能を一元化することで、商品供給体制整備のスピードアップを目指してまいりました。しかしながら、当該体制にてグループ運営を進める中で、商品企画・生産管理機能については、物流機能よりも小売機能とより密な連携をとることがバリューチェーンの最適化に適するため、小売事業会社である当社に商品企画・生産管理機能を集約する一方、物流機能については、海外物流機能の強化・展開も見据えて別法人で運営を進めることが適切と判断し、本吸収分割を実施することといたしました。

本吸収分割により、経営効率化と意思決定の迅速を図り、企業価値向上につながる体制に再編いたします。

(2) 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成20年12月26日公表分）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日公表分）に基づき、共通支配下の取引等として処理しております。

4. 補足情報

(1) 店舗出退店等の状況

店舗業態・地域	店 舗 数					
	前連結会計 年度末(注)3	当第2四半期連結累計期間				当第2四半期 連結累計期間末
		出 店	変 更	退店等	増 減	
グローバルワーク	178	4	—	△2	2	180
ローリーズファーム	158	3	10	△7	6	164
ニコアンド	116	4	—	△1	3	119
スタディオクリップ	162	6	—	—	6	168
レブシムローリーズファーム	125	5	—	△2	3	128
ジーナシス	84	1	5	△2	4	88
レイジブルー	64	2	7	△8	1	65
ヘザー	75	1	—	△6	△5	70
その他	285	12	△22	△7	△17	268
当社合計	1,247	38	—	△35	3	1,250
その他(注4)	3	—	—	△3	△3	—
国内合計	1,250	38	—	△38	—	1,250
香港	24	1	1	△1	1	25
中国	34	9	—	△5	4	38
台湾	26	1	—	—	1	27
韓国	12	5	—	—	5	17
シンガポール	10	—	△1	△9	△10	—
海外合計	106	16	—	△15	1	107
グループ合計	1,356	54	—	△53	1	1,357

- (注) 1. 店舗を運営管理しているブランド営業部・地域別に集計しております。
2. 店舗数は、他社WEBストア、自社WEBストアを含めて集計しております。
3. 平成27年3月1日付で、当社を存続会社、株式会社ポイント及び株式会社トリニティアーツを消滅会社とする吸収合併を実施しております。そのため、当社の前連結会計年度末の店舗数は、株式会社ポイント及び株式会社トリニティアーツの前連結会計年度末の店舗数を記載しております。
4. その他の退店等は、関係会社の売却に伴う減少を記載しております。

(2) ブランド・地域別売上高の状況

ブランド・地域	当第2四半期連結累計期間		前年同期比増減率 (%) (注) 2
	売上高(百万円)	構成比(%)	
グローバルワーク	17,111	17.6	15.9
ローリーズファーム	12,438	12.8	4.6
ニコアンド	10,980	11.3	13.2
スタディオクリップ	10,620	11.0	8.0
レプシムローリーズファーム	7,316	7.5	4.9
ジーナシス	5,843	6.0	18.7
レイジブルー	4,423	4.6	6.6
ヘザー	3,709	3.8	2.7
その他	18,226	18.8	6.9
当社合計	90,671	93.4	9.4
その他	437	0.5	—
国内合計	91,109	93.9	9.3
香港	3,553	3.7	18.3
中国	961	1.0	73.4
台湾	780	0.8	18.8
韓国	435	0.4	—
シンガポール	192	0.2	△58.2
海外合計	5,923	6.1	26.7
グループ合計	97,032	100.0	10.2

(注) 1. 店舗を運営管理しているブランド営業部・地域別に集計しております。

2. 平成27年3月1日付で、当社を存続会社、株式会社ポイント及び株式会社トリニティアーツを消滅会社とする吸収合併を実施しております。そのため、当社の前年同期比増減率は、株式会社ポイント及び株式会社トリニティアーツの前年同期の売上高と比較した増減率を記載しております。

(3) 商品部門別売上高の状況

商品部門	当第2四半期連結累計期間		前年同期比増減率 (%)
	売上高(百万円)	構成比(%)	
メンズ(ボトムス・トップス)	12,866	13.3	3.9
レディース(ボトムス・トップス)	65,586	67.6	10.9
雑貨・その他	18,579	19.1	12.6
合計	97,032	100.0	10.2

(注) 雑貨・その他は、ポイント引当金繰入額等が含まれております。